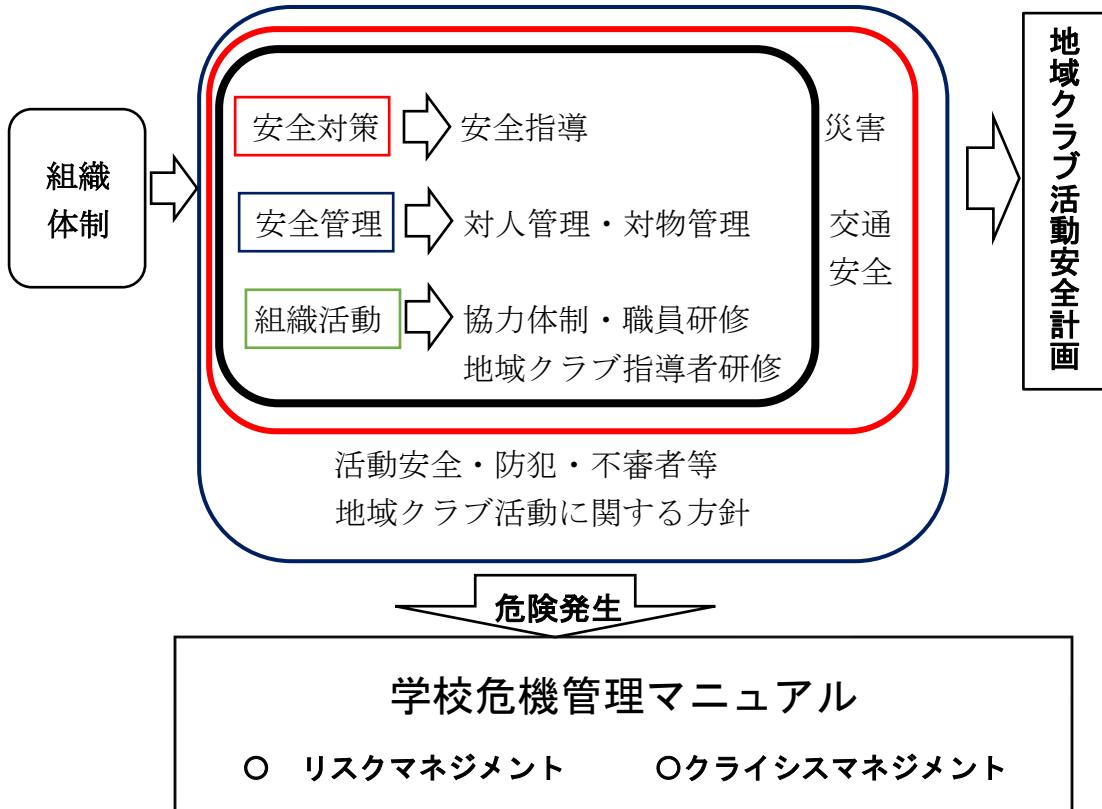


# 危機管理マニュアル



南島原市地域クラブサポートセンター

## はじめに 【 組織安全構造図 】



### 【 地域クラブ活動安全計画 】

安全に関する諸活動の総合的な基本計画。安全点検、安全指導、指導者研修を必ず含めなくてはならない。

### 【 地域クラブ活動危機管理マニュアル 】

様々な事件や事故、災害等における措置の具体的な内容・手順を定めた対処要領。

#### 危機管理の定義

こどもたちや教職員等の生命や心身等に危害をもたらす様々な危機を未然に防止するとともに、万一、事件・事故災害が発生した場合に、被害を最小限にするために、適切かつ迅速に対処すること

※ 「学校における防犯教室等実践事例集」平成18年3月文部科学省等より

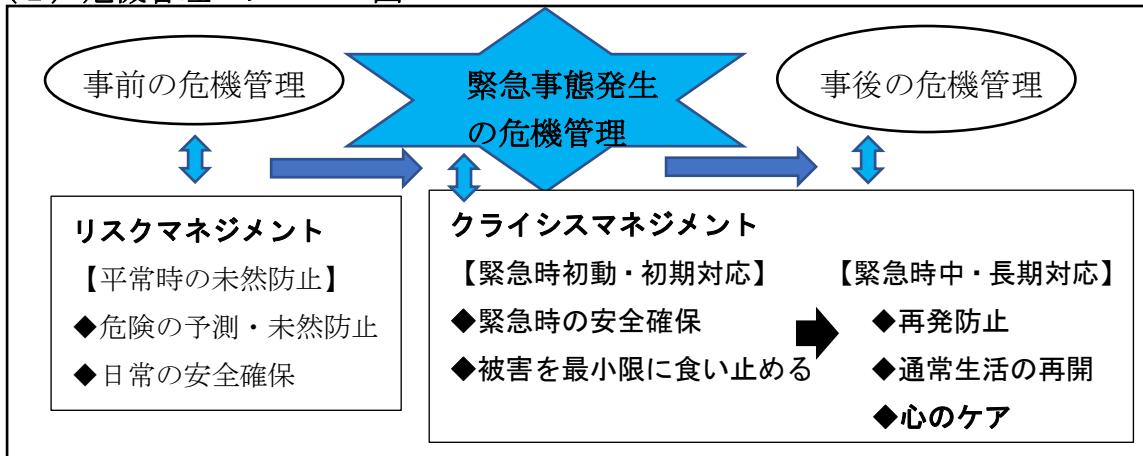
このマニュアルは、全指導者が共通実践し、事故防止や事故発生時の手助けになるよう作成しています。どんな「小さなこと」でも「おや?」と思ったら、「どうしようかな」と悩んだらぜひ一読してください。指導者の、危機意識が会員の「命」を守ります。

# — 目 次 —

<b>1 基本方針</b>	
(1) 危機管理のプロセス	1
(2) 危機管理の3つの目的	1
(3) 地域クラブを取り巻く環境	1
(4) 危機の分類	1
<b>2 安全管理体制</b>	
(1) 危機に対する3段階の基本対応	2
(未然、初期-緊急時、事後)	
(2) 事件・事故等緊急時対応図	3
<b>3 危機管理の実際</b>	
(1) 未然防止の対応（平常）	
①防犯の取り組み	4
②生活安全の取り組み（防犯以外）	5
③災害安全の取り組み	6
(2) 緊急事態発生時の対応	
①不審者対応	7
②移動中の不審者対応	8
③事故発生の対応	9
④火災発生時の対応	10
⑤地震発生時の対応	11
⑥台風・暴風発生時の対応	12
⑦活動施設が避難場所となった場合	13
⑧Jアラート	14
⑨情報モラル	15
⑩新型コロナウイルス感染症	16
<b>対応策</b>	17
⑪熱中症対応フローチャート図（別紙）	
<b>4 問題発生時確認チェックシート</b>	18

## 1 基本方針

### (1) 危機管理のプロセス図



### (2) 危機管理の3つの目的

- 会員とクラブスタッフ（指導者含む）の命を守る
- 会員とクラブスタッフの信頼関係を維持し、活動安全を確保すること
- 地域クラブに対して保護者や地域からの信頼を得ること

### (3) 地域クラブを取り巻く環境（リスク）

- ① 市内全域からの参加による交通事故
- ② 社会体育施設の老朽化
- ③ 指導者不在時の活動

### (4) 危機の分類

分類	内 容 (例)	
活動	活動	活動中の事故（ケガ等）
	練習試合	不審者等の事故・事件
	遠征等	熱中症などによる事故
	その他	指導者不在時の事故
移動時	交通事故	自転車事故、歩行中の事故、バス移動の事故など
	不審者	声掛け事案や、わいせつ行為など
健 康	感染症	新型コロナウイルス感染症など
	アレルギー	食物アレルギーのアナフィラキシー、蕁麻疹など
	食中毒	集団食中毒など
問題行動	非 行	触法行為、不良行為など
	いじめ	いじめ、ネットいじめ、自殺、不登校など
災 害	火災等	火事、地震、津波、大雨、台風、噴火など
Jアラート		ミサイルの発射
情 報	ネット等	インターネット全般のトラブル、ゲーム依存

## 2 安全管理体制

(1) 危機に対する3段階の基本対応（具体的なチェックリスト）

### ○未然防止のチェックリスト

- 安全指導の充実      安全に関する活動      指導・相談の充実
- 緊急連絡体制の確認（保護者・運営主体・教育委員会・学校の連絡体制）
- 安全点検（施設設備） 参加確認、安否確認、家庭連絡
- 火気、薬品の取扱い 活動中の安全確保 指導者研修

### ○緊急事態発生時のチェックリスト

- 事件・事故・災害の概要確認      会員、クラブスタッフ等の安全確認
- 情報収集と共有化 関係機関との連携
- 的確な意思決定（教育委員会を中心におく） 避難・誘導と安全確保
- 警察官、救急隊などの誘導 情報収集とコメント作成（報道用）
- 負傷者の対応 応急手当（AED） 心のケア 会員の不安軽減

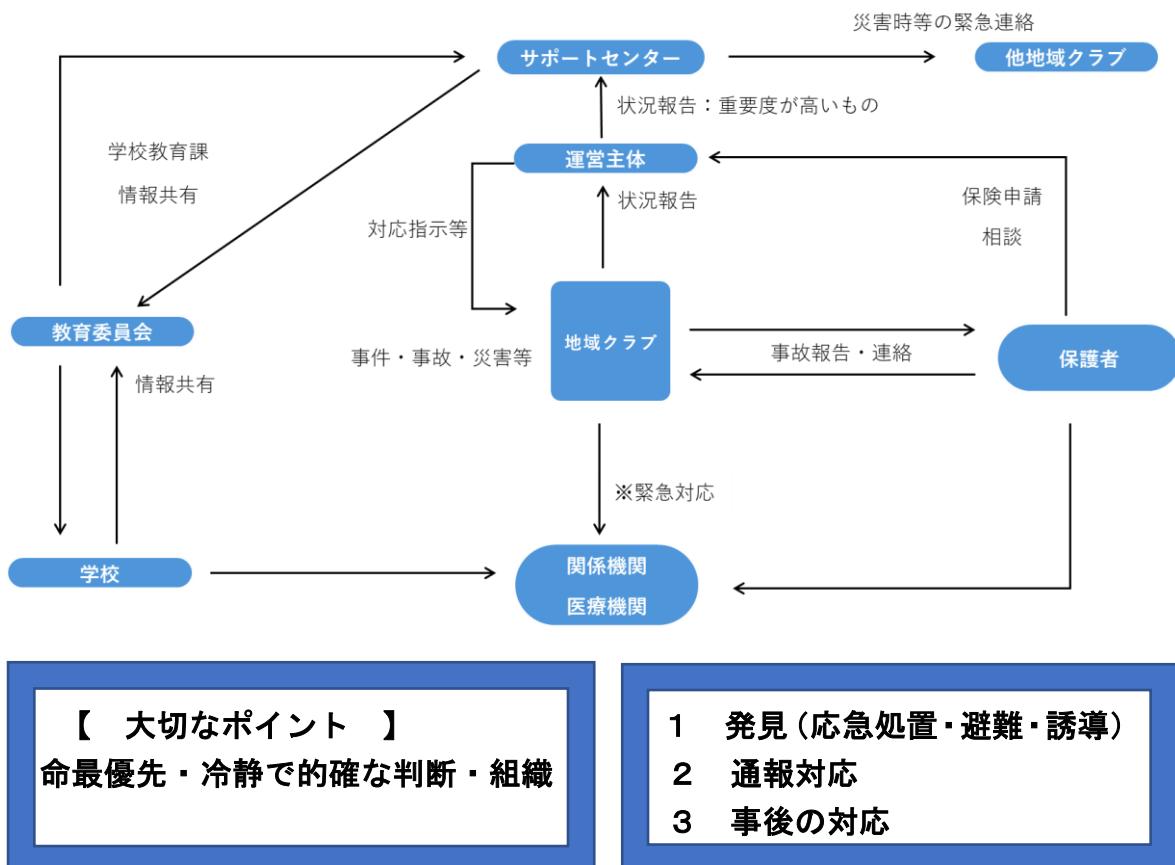
緊急事態発生時には、危機管理マニュアルに想定していない状況も発生するがあるため、正確な情報収集、迅速な判断、適切な対応を運営主体又は教育委員会のトップダウンをもとに、関係者が協働して危機に立ち向かう

### ○事後の対応

- 関係機関と連携 記録・報告書の作成 事件・事故発生の分析
- 安全対策の確立 会員の現状把握 保護者・地域と連携
- 危機管理マニュアル等の見直し 心のケアの継続
- 地元医療との連携

事件・事故発生後は安心するのではなく、原因の究明と対応の検証を行う。再発防止のためにマニュアルの見直しや、組織の見直しなどを行い、改善を図る。

## (2) クラブ活動の事件・事故等緊急時対応図（基本）



### 緊急連絡先一覧

名称	連絡先	名称	連絡先
サポートセンター	0957-73-6710	島原病院	0957-63-1145
市教育委員会	0957-73-6701	児童相談所	095-844-6166
南島原市警察署	0957-86-2110【110】	TEAM ひまわり	
消防署	【119】	アザリーベン	

### 事故発生時役割割分担

- 全体指導・外部との対応・・・・・・運営主体又はクラブ代表等
- 保護者への連絡・・・・・・・・・・・クラブ関係者
- 事件・事故への対応・・・・・・・・・・・発見者・クラブ関係者
- 応急手当・医療機関への連絡・・・・・・クラブ関係者

### 3 危機管理の実際

#### (1) 未然防止の対応（平常）

##### 【① 防犯の取組】

留意点	<p>①不審者や声掛け事案等など頻繁に発生している ②地域や保護者と連携して子どもの安全を確保する活動や、不審者侵入の防止対策や、防犯意識を高める指導の充実が必要である。</p>
地域と連携した安全体制	<p><b>ポイント1</b> 地域・保護者と連携した安全体制を確立する。 <input type="checkbox"/> 地域と協力した活動の実践。（地域貢献活動への積極的参加） <input type="checkbox"/> 市教委・警察の「キャッチくん」の情報提供を行う。</p> <p><b>ポイント2</b> 万一に備えて緊急連絡体制を整備する。 <input type="checkbox"/> 運営主体連絡体制の構築。 <input type="checkbox"/> クラブ関係者－保護者の連絡体制の構築。</p> <p><b>ポイント3</b> クラブ関係者・保護者・地域で連携して安全点検を実施する。 <input type="checkbox"/> 定期的に施設設備の安全点検を実施する <input type="checkbox"/> 会員・保護者から危険個所の情報提供をうける。</p>
不審者侵入防止体制	<p><b>ポイント4</b> 不審者侵入防止体制を確立するとともに、定期的な点検を行う。 <input type="checkbox"/> 出入り口は必要最小限にする。 <input type="checkbox"/> 地域クラブ関係者で定期的な巡回・巡視を行う。 <input type="checkbox"/> 道具等の管理を確実に実施する。 <input type="checkbox"/> 活動拠点の避難経路等の確認をする。</p> <p><b>ポイント5</b> 利用者の対応を明確にする <input type="checkbox"/> 施設利用者との面識を持つ。</p>
防犯教育	<p><b>ポイント6</b> 警察への通報体制を確立する。 <input type="checkbox"/> 警察への通報基準を明確にしておく。</p> <p><b>ポイント7</b> 防犯教育の充実 <input type="checkbox"/> 防犯の基礎知識を学習する。 <input type="checkbox"/> 地域の防犯体制（子ども110番の家）を周知する。</p>

## 【② 生活安全の取組（防犯以外）】

### ★転落事故防止

取り組み	<b>ポイント1</b> <b>安全教育の徹底</b> <input type="checkbox"/> 危険個所への出入りを規制する。その危険性を十分指導する
	<b>ポイント2</b> <b>安全管理の徹底</b> <input type="checkbox"/> 原則出入り口を決めておく。 <input type="checkbox"/> 体育館などはしごで登る場合は、安全確保を行う。

### ★水難事故防止

取り組み	<b>ポイント1</b> <b>危険性を十分指導し、ルールを守らせる。</b> <input type="checkbox"/> 遊泳禁止区域や雨の後の増水した河川に近寄らない。 <input type="checkbox"/> ため池や貯水池などに立ち入らない。 <input type="checkbox"/> 海岸における離岸流など正確な知識を身につけ、海水浴場などで遊泳する。
------	--

### ★熱中症の防止

取り組み	<b>ポイント1</b> <b>熱中症による事故防止策を徹底する。</b> <input type="checkbox"/> 活動は熱中症指数計を活用し、高温時などは運動を原則中止する。 <input type="checkbox"/> こまめな水分補給と休養を行わせる。 <input type="checkbox"/> タオルでの汗をしっかり拭きとり、こまめに着替えを行う。 <input type="checkbox"/> 運動前後で健康観察を行う。
	<b>ポイント2</b> <b>全てのクラブ関係者が応急手当を実践できるように研修を行う。</b> <input type="checkbox"/> 応急手当や AED の使い方など研修会に参加する。 <input type="checkbox"/> 緊急時の体制を確立しておく。

### 【③ 災害安全の取組】

留意点	<p><b>①</b>気象情報や緊急地震速報の入手体制、災害発生時の初期行動、避難行動、指示内容について共通理解をしておく。</p> <p><b>②</b>地震への対応</p> <p><b>③</b>津波への対応</p> <p><b>④</b>噴火災害への対応</p>
防災体制	<p><b>ポイント1</b></p> <p><b>防災体制を整備する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 情報収集・連絡体制の確立と共通理解。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害時の指定避難場所の把握と指導</li> <li><input type="checkbox"/> 活動場所の避難経路等の確認（保護者受け渡し完了まで）</li> </ul>
災害安全教育	<p><b>ポイント2</b></p> <p><b>災害安全教育に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自然災害に関する正しい知識について必要に応じて指導する。</li> </ul>
地震・津波への対応	<p><b>ポイント3</b></p> <p><b>緊急地震速報・津波警報の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各施設での落下防止策を実践しておく。</li> <li><input type="checkbox"/> 揺れが発生した場合は、倒壊しやすいものに近づかない。</li> <li><input type="checkbox"/> 天井や窓などの落下物に気を付け身を隠す。</li> <li><input type="checkbox"/> 硬いもので頭部を保護する。</li> <li><input type="checkbox"/> 海の近くにいる場合はできるだけ速やかに高台へ避難する。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊急避難後の保護者受け渡し方法を確認しておく。</li> <li><input type="checkbox"/> 津波警報が出たら、高台に避難する。</li> <li><input type="checkbox"/> 出入り口には避難の邪魔になるようなものは設置しない。</li> </ul>
台風への対応	<p><b>ポイント4</b></p> <p><b>台風の接近や緊急時の対応について共通理解をしておく。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 移動時に災害の恐れがある場合は命最優先の行動をとる。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊急時に備え、活動を中止させる場合は保護者に周知するとともに、帰宅のタイミングを的確に判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> サポートセンターと連絡を取り合い、対応を連携して実行する。</li> </ul>

(2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

【① 不審者侵入の対応】

チェック 1

- 不審者かどうかの確認** → No  特になし

↓ Yes

- 退去を求める** → Yes  退去した後を見届ける

↓ No

チェック 2

- 危害を加える恐れ** → No  退去を求め、見届ける

↓ Yes

**【隔離・通報】**

- 運営主体へ連絡  説得・退去  110番通報  教育委員会へ通報

↓ 隔離失敗

- 防御（暴力の抑止）  移動阻止  全員への周知  避難誘導  
 警察到着までの時間確保  全クラブ関係者で役割分担

チェック 3 ↓

**【負傷者の対応】** → No  事後対応

↓ Yes

- 応急手当  119番（救急車の要請）

↓

**【事後対応】**

- 情報の整理  保護者への説明  心のケア※学校連携  
 再発防止会議  報告書の作成

2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

【② 移動中の不審者対応】

不審者・声掛け事案等の学校への第一報

チェック 1 ↓

- 緊急対応の必要性確認 → No  状況により警察・市教委又はサポートセンターへ第一報

- ↓ Yes

【被害者の安全確保】

- 110番へ連絡  現場へ急行、情報収集  教育委員会へ通報  
 負傷者がいる場合は119番へ連絡  負傷者保護者へ連絡  
 運営主体へ情報提供

↓

不審者は確保されているか → Yes  警察へ協力

チェック 2

↓ No

【移動時の安全確保】

- 保護者引き渡し  メール一斉送信  
 関係機関へ協力要請  全クラブ関係者で役割分担し緊急パトロール

↓

【事後対応】

- 情報の整理  保護者への説明  心のケア※学校連携  
 再発防止会議  報告書の作成

(2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

【③ 事故発生時対応】

**事故発生・発見者第一報**

チェック 1 ↓ クラブ関係者共通理解

**【第一報の情報の共有・校長からの指示】**

- 情報の共有  情報収集（5H）  教育委員会又は運営主体へ通報
- 負傷者がいる場合は119番へ連絡  負傷者保護者へ連絡
- 事故現場へ急行  会員への聞き取り等  記録をとる

↓  
【運営主体】

チェック 2

↓  
【クラブ関係者】

- 搬送先へ急行
- 保護者対応  
収集した情報をサポートセンターへ連絡

- 会員への指示
- 情報の集約・対応手順の確認
- 目撃会員からの情報収集
- サポートセンターへ報告書作成

チェック 3

↓

**【会員が重症・死亡の場合】**

- 遺体が自宅に戻るまで付き添う  
※長期対応を視野に入れる
- その後の対応の指示

- 緊急連絡会
- 市教委への協力要請

↓

↓  
**保護者対応**

↓

**会員へ説明**

↓

**【事後対応】**

- 情報の整理  保護者への説明  心のケア ※学校連携
- 再発防止会議  報告書の作成

(2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

【④ 火災発生時対応】

火 災 発 生

チェック 1 発見者は大声で叫ぶ ↓

【初期消火 及び 消防署へ通報】

- 緊急連絡
- 初期消火のため現場へ急行（消火器）
- 消防へ通報

↓

チェック 2

↓

【避難誘導・安全確保】

【統括 クラブ代表】

- 避難誘導
- 安全確認（人員点呼）

- 全体指揮（現場確認後）
- 情報の集約

【役割分担と業務】

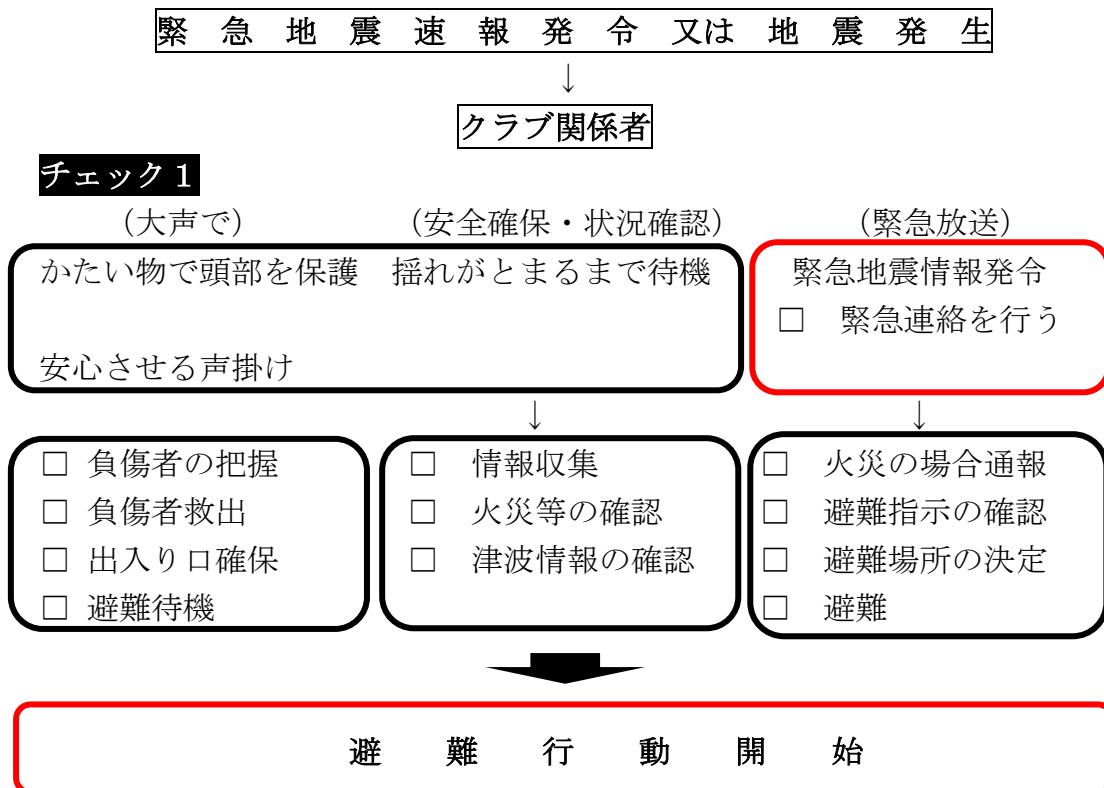
- |       |         |               |
|-------|---------|---------------|
| 本部    | ：クラブ代表  | □ 全体指揮        |
| 指揮連絡部 | ：クラブ関係者 | □ 緊急連絡        |
| 避難部   | ：クラブ関係者 | □ 避難誘導        |
| 搬出部   | ：クラブ関係者 | □ 重要書類搬出      |
| 消防部   | ：クラブ関係者 | □ 初期消火・緊急車両誘導 |
| 救護部   | ：クラブ関係者 | □ 救出活動・応急手当   |
|       |         | □ 医療機関連絡      |

【24時間以内の対応】

- 情報の整理       保護者への説明       心のケア
- 再発防止会議       報告書の作成       警察・消防と連携
- 報道対応（管理職）      ケガ等の会員の容態確認

## (2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

### 【⑤ 地震発生時の対応】



### 【役割分担と業務】

本部	: クラブ代表	□ 全体指揮
指揮連絡部	: クラブ関係者	□ 緊急放送・避難放送
避難部	: クラブ関係者	□ 避難誘導（生徒安全確保）
搬出部	: クラブ関係者	□ 重要書類搬出
消火部	: クラブ関係者	□ 初期消火・緊急車両誘導
救護部	: クラブ関係者	□ 救出活動・応急手当
		□ 医療機関連絡

### 【24時間以内の対応】

- 情報の整理      □ 保護者への説明      □ 心のケア
- 再発防止会議    □ 報告書の作成      □ 警察・消防と連携
- 報道対応（管理職）    □ スクールカウンセラー協力要請
- ケガ等の会員の容態確認    □ 避難場所の開設（体育館）

#### 留意点

- ① 一時避難場所を設定、津波の危険性がある場合は高台に避難
- ② 避難場所の確認

## (2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

### 【⑥ 台風等の対応】

#### 1 最新の気象情報の確認



#### 教育委員会等の緊急協議

運営主体又はサポートセンターの指示事項 及び 対応の情報共有

#### 基本対応

##### 台風接近（学校休業の場合）

- 休校の確認を行う
- 途中帰宅の場合はメールにて連絡
- 移動前であれば自宅待機その後、連絡

##### 大雨・暴風などの警報発令

- 各家庭で移動の安全確保ができる活動に参加する
- 安全確保が難しければ自宅待機
- 臨時休校や途中での下校などの場合市教委と連携し、態度決定を行う。  
その際、他地域クラブとそろえる。

#### 【事後対応】

- 情報の整理
- 被害状況確認
- 心のケア
- 警察・消防と連携
- ケガ等の会員の容態確認
- 避難場所の開設（体育館）

#### 留意点

- ① 緊急連絡網、メールの連絡体制を整備する。
- ② 台風や大雨の後は土砂災害などの二次災害を想定しておく
- ③ 命最優先の行動をとるよう普段から安全指導を徹底しておく
- ④ 台風等で中止になる場合は、外の飛びそうなものは屋内に保管する

(2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

【⑦ 活動が避難場所となった場合】

大規模災害が発生し、活動が避難場所になった

**チェック 1**

【クラブ関係者の協力体制（任意、ボランティア）】

	災害状況	避難所としての機能	協力できる内容
救命避難期	(災害直後～) ライフラインの途絶 地域社会の混乱 継続する余震など	事故発生 ↓ 地域住民の学校への避難	施設設備の安全点検 解放区域の明示 駐車場を含む誘導など
生命確保期	(数分後～) 消防・警察・自衛隊の救助開始	↓ 避難所として開設 ↓ 避難所の管理・運営	名簿作成 情報伝達と情報収集 水や食料の配給手伝い 衛生環境整備
生活確保期	(数分後～) 応急危険度判定士による安全点検	↓ 自治組織の立ち上がり ↓ 自治組織の確立	自治組織への協力 ボランティアとの調整
学校機能再開期	(数週間後～) 仮設住宅等への入居	↓ 避難所機能と学校機能の同居 ↓ 避難所機能の解消 ↓ 学校機能の正常化 ↓ 日常生活の回復	学校再開に向けての準備

【避難所支援にあたる場合の基本】

- ①支援にあたる者を固定せず、3人以上のチームを複数編成する。
- ②運営上の特記事項や避難者が決めたルールなどの決定事項を引き継ぐ。
- ③自主防衛組織による運営ができるよう、組織確立に向けた支援を行う。

※ 学校における安全管理の手引（三訂版）より抜粋

(2) 緊急事態発生時の対応の実際（初動対応）

【⑧ Jアラートが発令された時の対応】

全国瞬時警報システム（Jアラート発令）による発令



ミサイル発射情報直後の対応・緊急避難

運営主体又はサポートセンターの指示事項 及び 対応の情報共有  
基本対応

【屋外にいる場合】

- 頑丈な建物の中に避難する
- できるだけ窓から離れる
- 床に伏せて頭部を守る

【屋内にいる場合】

- できるだけ窓から離れる
- 床に伏せて頭部を守る

クラブ代表は、防災行政無線や緊急メール等により、正確かつ迅速な情報収集を行う。市教委からの連絡・テレビ・ラジオ・インターネットで確実に情報収集を行う。

【日本の領土・領海に落下する可能性があると判断された場合】

避難行動は基本対応と同じ。緊急連絡を最後まで慌てずに聞く。

- 負傷者の確認  パニックを起こさないように安心させる
- 情報を確認し、関係機関からの指示を待つ  被害の有無を報告



留意点

- 会員への安全教育の徹底  クラブ関係者で共通理解
- 緊急事態の対応をあらかじめ協議しておく
- 移動中に関しても会員へ安全行動をとらせるよう指導する

(2) 情報モラル対応（インターネット・SNS等）の実際（初動対応）

【⑨ 情報モラル違反対応】

情報モラル（インターネット・SNS等の問題発覚）



基本対応

【書き込みの内容確認】

- 生命・身体・財産の内容
- 不特定多数が閲覧可能か
- 個人が特定できるか
- 投稿者が特定できるか

【被害生徒・保護者の意思確認】

- どのような措置を望んでいるのか
- 被害届の有無

ネット上のトラブルは、保護者が被害届を出す場合は、投稿画像等を勝手に削除しない。緊急を要する場合は警察に速やかに相談する。

【具体的な対応策】

迅速な削除と拡散防止。陰湿ないじめにつながらない指導

- サポートセンターへの報告
- 書き込みの内容の記録（5H）
- 投稿者への削除要請
- ネットサービス事業者への削除要請
- プロバイダに対する依頼

※投稿者が自分で削除する場合もあるので、スクリーンショットなどで記録を保存しておく。



留意点

- 会員と相談し決定するのではなく、必ず保護者も交えて対応を協議する
- ネット等で直接投稿者に削除依頼を行う場合は、相手を刺激し、トラブルが悪化する場合がある。十分に検討すること。

(2) 新型コロナウイルス対応の実際（初動対応）

【⑩ コロナウイルスに感染・予防対応】

新型コロナウイルスに感染もしくは疑いがある場合



基本対応

【感染の疑い】

- 自宅待機（活動停止）
- 県南保健所へ相談
- 病院受診
- 治療後のケア（いじめ防止）

【感染】

- 入院 濃厚接触者の整理
- 活動中止措置 消毒措置
- 代表へ報告 自宅待機

【具体的な予防策】

感染症予防のための環境整備と生活の仕方のチェック

個人

- ソーシャルディスタンスをとる  常時マスク着用
- 長時間の集合や話し合い活動をしない  給食は前向きで食事する
- 登校後の石鹼での手洗い  毎日入浴・手洗い・うがい
- 咳エチケット 毎朝の検温

環境整備

- 教室の換気 予備マスクの確保 健康観察（検温含む）
- 手洗い場の完備 給食着の正しい着用 トイレの衛生を保つ
- 使用場所の定期的な消毒

活動中

- 3密（密集・密閉・密接）を全ての場所で避ける工夫
- 部活動単位での練習開始・終了後の健康観察（手洗い・検温）
- 身体活動を行う授業で3密を避ける工夫

※別紙「感染症予防のための環境整備と生活の仕方の指針 深江中」

感染症を原因とする誤解・偏見に基づく差別の防止徹底

### (3) 新型コロナウイルス対応の実際（生徒・家族・教職員に発生した場合）

#### 活動参加の取扱いについて

※① □ 感染者・濃厚接触は学校での対応と同様

感染症の疑いがある

家庭へ  
①検温  
②抗原検査

陽性反応

クラブ代表へ

対象会員は病院受診。



- ※ □ 保健所等の業務への積極的協力（調査・消毒等）：全職員
- ※ □ 感染生徒の心のケア・他の生徒への指導：教諭・担任
- ※ □ 学校再開へ向けた準備：校長・教頭・教務

#### 長崎県の感染ステージ（学校行事・部活動） 現在は特に制限無し

ステージ5	学校行事中止・グループ活動等中止	部活動停止
ステージ4・3	学校行事検討（4→中止、3→無観客）	部活動制限大
ステージ1・2	学校行事縮小して実施	部活動制限小

※この表の限りではない。その都度、協議します。

#### 4 指導時確認チェックシート

事故・事件発生日時	月	日	(曜)	<input type="checkbox"/> 即対応	<input type="checkbox"/> 後日対応
発生場所	<input type="checkbox"/> 教室	<input type="checkbox"/> 運動場	<input type="checkbox"/> 体育館	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
発生時間	:	頃			
被害者氏名	年	組		<input type="checkbox"/> ケガ有	<input type="checkbox"/> ケガ無
事件・事故の種類					
<input type="checkbox"/> 触法行為 <input type="checkbox"/> 性的問題 <input type="checkbox"/> いじめ <input type="checkbox"/> 暴力 <input type="checkbox"/> 窃盗 <input type="checkbox"/> 落書き <input type="checkbox"/> その他 (行為 : )					
加害生徒氏名	年	組		<input type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 複数
目撃生徒	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し			
事件・事故重要度					
<input type="checkbox"/> 警察・児相・市教委連絡 <input type="checkbox"/> 管理職・保護者連絡 <input type="checkbox"/> 学年指導					
事件継続性	<input type="checkbox"/> 単発	<input type="checkbox"/> 数回	<input type="checkbox"/> 数十回		
普段の指導場面で、漏れがないようにチェックできるように活用する					

#### 4 指導時確認チェックシート

事故・事件発生日時	月	日	(曜)	<input type="checkbox"/> 即対応	<input type="checkbox"/> 後日対応
発生場所	<input type="checkbox"/> 教室	<input type="checkbox"/> 運動場	<input type="checkbox"/> 体育館	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
発生時間	:	頃			
被害者氏名	年	組		<input type="checkbox"/> ケガ有	<input type="checkbox"/> ケガ無
事件・事故の種類					
<input type="checkbox"/> 触法行為 <input type="checkbox"/> 性的問題 <input type="checkbox"/> いじめ <input type="checkbox"/> 暴力 <input type="checkbox"/> 窃盗 <input type="checkbox"/> 落書き <input type="checkbox"/> その他 (行為 : )					
加害生徒氏名	年	組		<input type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 複数
目撃生徒	<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し			
事件・事故重要度					
<input type="checkbox"/> 警察・児相・市教委連絡 <input type="checkbox"/> 管理職・保護者連絡 <input type="checkbox"/> 学年指導					
事件継続性	<input type="checkbox"/> 単発	<input type="checkbox"/> 数回	<input type="checkbox"/> 数十回		
普段の指導場面で、漏れがないようにチェックできるように活用する					